

小 美 玉 市 議 会 だ よ り

～ 市民の負託に応えうる
開かれた議論に基づく
公平公正な議会を目指して～



2017.7.20 第46号



目 次

■第3回議会報告会のご案内	P2
■第2回臨時会	P3
■6月定例会 議案審議結果	P4～
■常任委員会 Q&A	P6～
■一般質問	P8～
■視察報告	P14
■プレゼントクイズ、市民の声ほか	P15
■議長通信、次定例会の予定	P16

～ 市民の負託に応えうる、開かれた議論に基づく公平公正な議会を目指して～

市政を身近に
感じて見ませんか

今年も開催します **第3回**

皆様のご意見を
お聞かせください

議会報告会



今年も議会報告会を開催いたします。

開かれた議会を目指して、市議会の活動状況をみなさんにお知らせし、みなさんからご意見やご要望をお伺いします。

8月3日（木）

19:00～20:45

美野里公民館
（大ホール）

8月4日（金）

19:00～20:45

小川文化センター
（アピオス 小ホール）

8月5日（土）

19:00～20:45

生涯学習センター
（コスモス 集会室）

※3日間とも同一の内容で開催いたします。皆さまの 都合のよい日・都合のよい場所 にお越しください。



第1部 議会報告（約40分）

各委員会の直近の議案審査報告や調査状況について

第2部 意見交換（約40分）

市民の皆さま方と市議会や市政について意見交換



小美玉 | シテイ | ダイヤモンド
見つける。 | |
みかく。 | |
光をあてる。 | |

※事前申込は不要です、受付は、開始時間30分前からとなります。

※終了時間は、当日の進行状況により早まる場合があります。

※議会広報作成のための、写真撮影・録音を許可しておりますので
あらかじめご了承ください。

平成29年第2回臨時会

平成29年第2回臨時会は4月10日に開かれ、報告2件と議案1件を審議しました。議案は全て承認・可決されました。



新体制の執行部で行われた臨時会(4月10日)

平成29年第2回臨時会 審議結果等一覧 (全3件) 【全会一致の議案等】

No	議案	結果
■報告 (2件)		
1	専決処分の承認を求めることについて	承認
2	専決処分の承認を求めることについて	
■議案 (1件)		
1	工事委託契約の締結について	可決

小美玉市税条例等の一部を改正する条例についての専決処分

国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分

常磐線羽鳥駅橋上駅舎化及び東西自由通路新設工事の工事委託契約を締結するもの

「永年勤続表彰」を受賞

■全国市議会議長会表彰

- 議員 25年以上 野村 武勝
- 議員 15年以上 戸田 見成

■茨城県市議会議長会表彰

- 議員 25年以上 野村 武勝
- 議員 15年以上 戸田 見成

※町村議会の経歴は1/2年で換算されます。

全国市議会議長会より感謝状

■地方行政委員長の功績

■全国と地方の協議の場等に関する 特別委員会の委員の功績

- 市村 文男議長



戸田議員

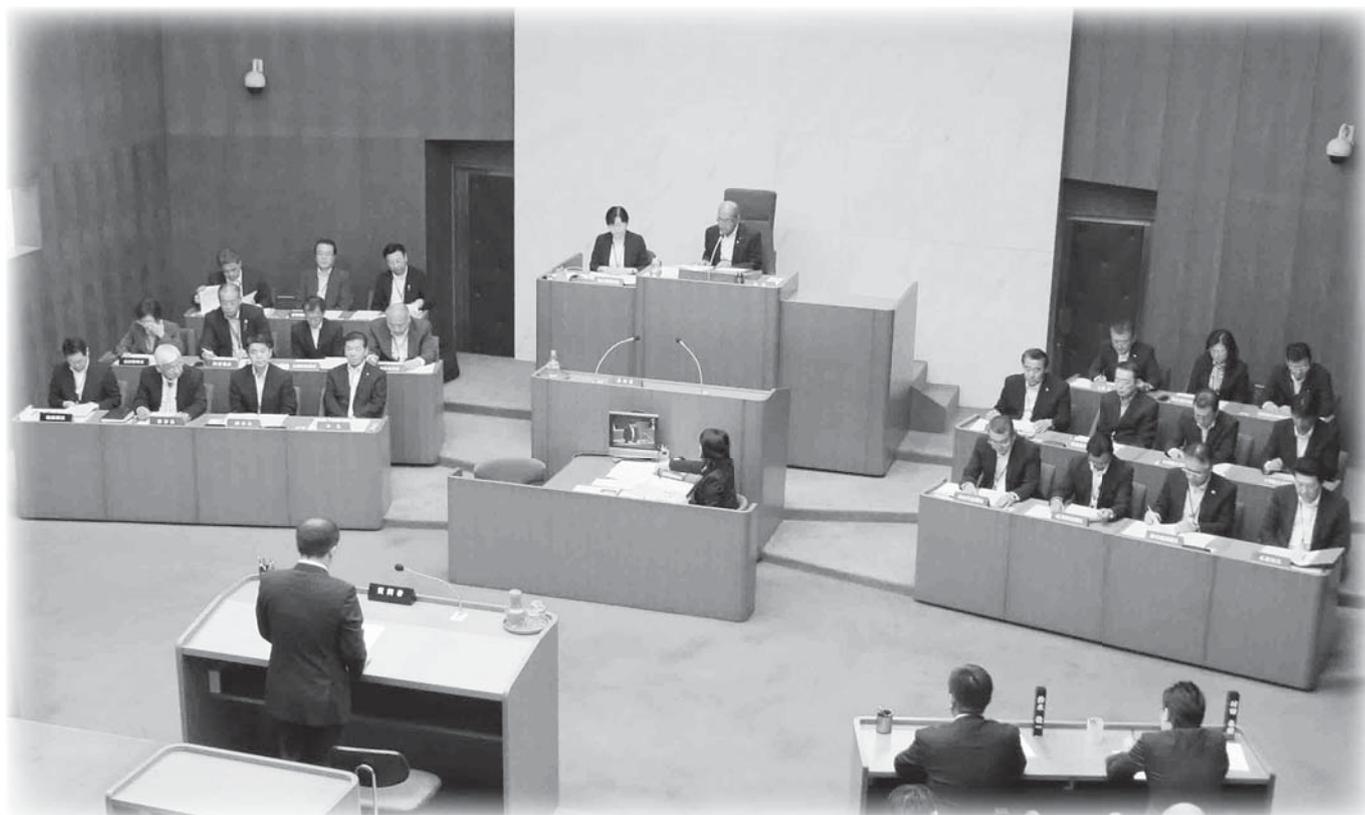
市村議長

野村議員

平成 29 年第 2 回定例会

6 月 8 日～ 23 日の会期で開催

平成 29 年第 2 回定例会は、6 月 8 日から 23 日までの 16 日間の会期で開かれ、12 件の議案等について審議しました。この中には、教育委員会委員等の人事案件などが含まれており、市長から提案された議案等はすべて可決（承認・同意）されました。また、6 月 13 日から 15 日にかけての 3 日間、12 人の議員が一般質問に立ち、市政を質しました。



12 名の議員が活発な一般質問を行いました。

（6 月 13 日、議場を傍聴席から撮影）

平成 29 年度 補正予算

（単位：万円）

会計別	補正額	補正後額
一般会計	2 億 5,990 ↑	238 億 4,690

※特別会計：国民健康保険の歳出予算の組み換え
病院事業会計支出予定額の変更

（議案 41・42・43 号）

一般会計補正予算の主なもの

（単位：万円）

項目	補正額
歳入 再編関連訓練移転等交付金	2 億 3,210 ↑
歳出 再編関連訓練移転等交付金事業	2 億 5,375 ↑

（議案 41 号）

委員会 審査 Q & A

各委員会に付託された 10 議案を審査

本会議で付託された10件の議案等について、16日から20日にかけて行った各常任委員会で審査しました。各常任委員会で審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

務

(委員)
大和田 島川 口木 田
長 荒 関 鈴 村



▲総務常任委員会の様子

Q. 使用期間はどのくらいで入れ替えるのか？

高規格救急自動車の更新



▲高規格救急自動車

A. 現在、美野里消防署に配置されている高規格救急自動車は平成22年1月に購入した車両で走行距離は、16万kmを超えている。車両更新基準に従って経過年数10年または走行距離15万kmのいずれかに該当することにより更新するもの。



▲文教福祉常任委員会の様子

文教福祉

(委員)

本 仲 目 川 谷 木 村
岩 谷 笹 小 幡 植 木

Q. 救急救命士の配置状況は？
A. 現在18名が在籍。内訳は、小川署8名、美野里署6名、玉里署4名となっている。



▲小美玉市医療センター

小美玉市医療センター経営改革提案選考委員会の設置等に関する条例の制定

Q. 医療センターの経営移譲に当たり、必要な条件等の設定とあるがどのような条件か？

A. 条件は、今後選考委員会で検討していくが、救急医療等が考えられる。

Q. 医療センターの経営移譲先候補団体の選考、公募の時期は？

A. 7月に委員を選任し委員会を立ち上げ、委員会で公募条件を検討。8月に公募を開始する予定、その後候補団体の選考となる。

産業建設

(委員) 田井村 槻井 島
戸石野 大藤 福



▲市道路線の廃止（現地視察の様子）

再編関連訓練移転等交付金

Q. この交付金を活用した事業の
中身は？

A. 上合地内、及び貝谷地内の道路
改良工事や、高規格救急自動車、消
防指揮車及びそれに付随する備品の
購入が主なもの。

茨城空港・石岡小美玉スマート
ICアクセス道路（工事委託契約）

Q. 今回の委託契約の工事場所と内容は？

A. 道路延長9・6kmのうち東側
の4・6km区間の路体盛土工事や
舗装工事、排水路工事などの道路改
良工事を委託するもの。

6月定例会（傍聴者数）

日程	会議等の主な内容	傍聴
23日	議会運営委員会 全会協議 本会議（委員長審査報告 採決、閉会）	1名
22日	議会改革推進特別委員会 広報特別委員会	--
21日	特別委員会 百里基地・茨城空港対策	--
20日	産業建設常任委員会	--
19日	文教福祉常任委員会	--
16日	総務常任委員会	--
15日	本会議（一般質問、議案質疑） 地域医療対策特別委員会	4名
14日	本会議（一般質問）	4名
13日	本会議（一般質問） 地方創生まちづくり特別委員会	5名
8日	本会議（開会、議案上程）	2名

※傍聴には、簡単な受付
（氏名・住所・職業・年齢の記入）
が必要です。

一般質問

市民の声を市政に



▲ 本庁舎の1階ロビーと3階の議場
前、各総合支所の1階ロビーにTV
モニターを設置しています。

(※一般質問は、次ページから)

- ◇ 谷仲 和雄 (8ページ)
- ◇ 関口 輝門 (8ページ)
- ◇ 木村 喜一 (9ページ)
- ◇ 小川 賢治 (9ページ)
- ◇ 福島 ヤヨヒ (10ページ)
- ◇ 村田 春樹 (10ページ)
- ◇ 石井 旭 (11ページ)
- ◇ 長島 幸男 (11ページ)
- ◇ 植木 弘子 (12ページ)
- ◇ 鈴木 俊一 (12ページ)
- ◇ 幡谷 好文 (13ページ)
- ◇ 戸田 見成 (13ページ)

決算書・決算説明書も市HPに掲載すべき

市のホームページで公表する準備を進める



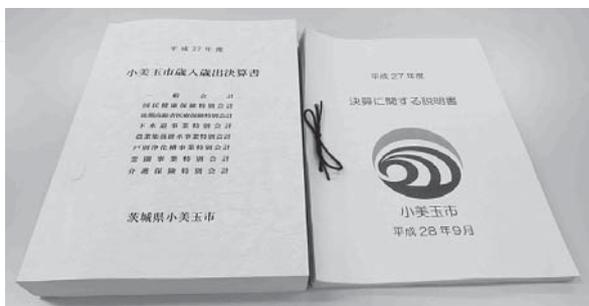
谷 仲 和 雄

Q 予算書・予算説明書と同様に「決算書」・「決算説明書」も市ホームページ（HP）に掲載すべきでは。

A 企画財政部長 議員から指摘の通り、予算関連資料の市ホームページ公表は他自治体と比較して充実している。一方、決算関連資料は決算に基づき分析された指標を中心に公表しているが決算書や決算説明書は公表していない。「決算書」及び「決算説明書」を併せてホームページに公表できるように準備を進める。

Q 財政情報からの「数字」を読み取りやすく、わかりやすい解説を加えた財政白書の作成・活用を提案する。

A 企画財政部長 市の財政状況について、わかりやすく解説を加えた小美玉市財政白書を作成し、活用してはということについて、財政白書を作成する先進自治体を確認し



▲決算書と決算説明書

たところ、あらゆる決算情報が網羅されるものから概要版的なものまであることを確認した。財政白書を活用し「財政の見える化」を進めることは、市民協働のまちづくりを推進する重要なツールと感じている。先進自治体の財政白書を参考にしつつ、研究をし、小美玉市財政白書の作成に向け準備を進める。

返礼品の高額化・競争過熱の対応策は

協力事業者と協議し、実施検討する



関 口 輝 門

Q ふるさと納税は、税収に悩む地方自治体の格差是正を推進する制度である。①寄附額の実績額は②寄附による事業への使途は③返礼品の調達額（割合）は④流出による税の還付・控除額は⑤総務省の返礼品調達費の抑制要請の対応策は、等々同う。

A 企画財政部長 地域を応援できる大きな意義のある制度である。納税者と自治体は成長を高める関係の構築と行政への関心と参加意識を高めることにある。

①平成28年度実績は1万6336件の1億8710万円の前年比1.67倍と年々高まりを示している。②寄附者の指定使途により、次代を担う人づくりプロジェクト・健やかで安心安全なまちづくりプロジェクト・魅力ある地域づくりプロジェクト

トの事業に活用している。③返礼品の調達額は9418万円（寄附額の約50%）、その他の経費1336万円（約7%）で寄附額の約57%を費やしている。④市外への寄附額は1789万円、市民税837万円・県民税558万円が控除されている。⑤豪華な返礼品で寄附を集める自治体間競争過熱の歯止め策として、調達費を3割以内に抑えるよう総務省から要請があるが、本市では、選定基準を設けて、事業者が市内で生産・製造したものを採用している。国の要請は、一定の目安と理解し、近隣市町の状況を踏まえ、協力事業者と協議し、実施を検討していきたい。

【その他の質問】

○「空のえき」事業の管理運営について

統計計画：平成31年4月に小川小・橘小学校 平成33年4月に玉里小・玉里北小・玉里東小学校 平成35年4月に野田小・上吉影小・下吉影小学校

農産物のグローバル GAP 認証取得支援策は

市として費用助成や総合支援へ向けて検討する

木村喜一



Q 大離農時代への対策として田畑の更なる土地改良と東京五輪への食材供給の為、農産物のブランド化が必要と考えるが市の支援策は。

A 企画財政部長 農振地域指定の解除や農地の転用許可など課題は多く、関係所管課を集めた検討会議の中で用途地域の指定、地区計画の問題点の洗い出しや関係法令との整合性などを協議、検討していきたい。

Q 茨城空港線沿道の発展的な土地利用の施策は？農地・環境に配慮しつつ都市計画を見直して用途地域等の指定を。

A 危機管理監 周辺の住民の意見を踏まえ、シェルター設置の可否を国を含め協議を行い検討していきたい。

Q 他国からの弾道ミサイル発射に備え百里基地周辺地区に地下シェルター等、市民避難用構造物の早急な整備を。

A 産業経済部長 水田の再整備事業化に向けて検討していきたい。畑地の畑地帯総合整備事業は区画整理にあわせ地域農業の担い手に集約する手法をとっており、今後のモデルとなる事業である。小規模な土地改良事業に対する支援も制度化されており、農地中間管理事業との連携などの要件を満たした場合、5ヘクタールから区画整理などが可能になる事業もある。GAP認証は、認証機関に費用が発生するので費用助成を含めた総合的な支援対策を今後検討していきたい。

【その他の質問】
 ○産業廃棄物の不法投棄、現状と課題・今後の対策は
 ○羽鳥駅橋上駅舎新設工事、安全かつ便利さの追求を

学校統合で廃校となる校舎の利活用は

今年度中に基本方針を策定したい

小川賢治



Q 観光行政について。
 ① ゴールデンウィーク中の観光客数の状況は
 ② 交流人口、経済波及効果は
 ③ 観光スポット、振興策は



▲橘小学校



▲小川小学校

Q 学校統合で廃校になる校舎の利活用について、学校跡地の具体的な利活用方法について伺う。
A 副市長 全市的な視点からの施設の必要性や地域間バランス、地域コミュニティへの効果など、総合的な見地に基いて進めていく。今後、議会をはじめ関係団体等のご意見を伺い、今年度中を目標に基本方針を策定していきたい。

A 産業経済部長 ①本市の主な観光施設への観光客数は約10万6500人となっており、茨城空港、空のえき「そ・ら・ら」、霞ヶ浦周辺や大井戸湖岸公園、花木センター等です。

②交流人口は、茨城空港のスカイスリーフェスタ、空のえき「そ・ら・ら」のよさこいまつり、牛乳まつり、盆踊り大会、産業まつり、たまごまつり、ふるさとふれあいまつりなど、小美玉市の特色を生かしたイベントを開催し、交流人口の拡大に努める。
 ③小美玉市の恵まれた自然環境を観光スポットとして、市内外や旅行ツアー会社に情報を提供し、質の高い農畜産物を観光資源として、小美玉市の魅力を発信し交流人口の拡大を図っていききたい。

②交流人口は、茨城空港のスカイスリーフェスタ、空のえき「そ・ら・ら」のよさこいまつり、牛乳まつり、盆踊り大会、産業まつり、たまごまつり、ふるさとふれあいまつりなど、小美玉市の特色を生かしたイベントを開催し、交流人口の拡大に努める。

①本市の主な観光施設への観光客数は約10万6500人となっており、茨城空港、空のえき「そ・ら・ら」、霞ヶ浦周辺や大井戸湖岸公園、花木センター等です。

原子力行政に対する市の対応策は

迅速な情報提供を強く申し入れていく

福島ヤヨビ



Q 東海第二原発は再稼働と延命審査が要請されるようになっているが、市としての見解と、大洗実験炉で起きた事故に対しての対応はどのようにしているか。

A 危機管理監 小美玉 市は「東海第二発電所安全対策首長会議」のメンバーであり、重要事項の迅速な情報提供を申し入れを強く行っている。また議会においても平成24年に廃炉を求める請願が採択されており、市長も「脱原発を目指す首長会議」に参加していることから、今後の動向を把握し、脱原発を目指していく。大洗実験炉に対する避難計画も検討していきたい。

今回の事故には6月9日緊急要請を行っている。

Q 交通安全対策、特に信号機の設置はどのようになっているのか。白線等の補修は道路の管理区別なく速やかに対応して欲しいが。

A 都市建設部長 信号機の設置は県警が行っているが、よく協議を行い強く要望していきたい。県道と市道が交差する補修箇所は県土木事務所と連絡して対応していく。

Q 合併後、職員削減による住民へのサービス低下はないか。職員の過度な勤務はないか。

A 総務部長 市民サービスへの意識や配慮不足が生じないように、職員のない空白を作らないよう工夫して対応したい。毎週木曜日をノー残業デーとして取り組みを始めた。

Q 新ごみ処理場はなぜ延命ではなく建て替えか。今後の「みのり荘」は。

A 市民生活部長 有利な補助金を利用しコスト削減と耐震等災害時を考え、広域化により新設の方向で進めている。また、みのり荘は住民ニーズを考え検討していきたい。

羽鳥駅周辺整備事業の今後の動きは

円滑な事業推進に努めていく

村田 春樹



Q 羽鳥駅周辺整備事業の今後の動きについて。

A 都市建設部長 羽鳥駅橋上化及び東西自由通路、そして東西駅前広場の早期整備に向け、広く市民の皆様への周知を重ね、JR東日本や関係機関と連携し、円滑な事業推進に努める。

また、東口市有地は、市議会の政策提言及び「羽鳥駅東口拠点整備等検討委員会」の提言を踏まえ、庁内関係所管課を集めた検討会議を行う。



▲羽鳥駅西口を利用する市民

Q 災害のリスクを正しく予見するように努めているのか？また、想定外に対応するため努めているのか。

Q 前年度を踏まえて、今年度の小美玉市防災訓練をどのような形で実施する予定なのか。

A 危機管理監 本年度の防災訓練実施のため関係係によるプロジェクトチームを設置し、内容について協議しているところで、雨天時の対応も考えている。

雨天時には、実施できない訓練も出てくるが、できる限り、現実的な訓練の開催を模索していく。

A 危機管理監 他の事例を調査、公表されているデータ等を活用し、災害を予見していかねければならないと考えているが、市において、その取組みは十分とはいえない。災害の対応には、多くの皆様のご協力と、ご理解が必要であり、災害への備えも皆様からのご意見、ご指導が不可欠である。

同時に、すべての方が日常から問題意識を持ち、訓練などを通して課題解消を図っていかねばならない。

防災士の認定制度の推進について伺う

地域防災力向上のため、資格取得の補助制度を検討する



植木 弘子

Q 自治体として、しっかりとした防災知識を持つ防災リーダーの養成が必要と考えるが、見解を伺う。

A 危機管理監 「共助」の部分について、日頃の意識の高揚とともに、災害時における地域のリーダーの育成を図って行く必要がある。市においても防災士等の資格取得を推進していきたい。今後は地域防災力の向上のため、消防本部等と連携し、防災士資格取得のための要件である「普通救命」の講習開催を迫及するとともに、資格取得の補助制度の検討を行っていききたい。

Q 職員・市民の防災士取得者の活用について、どのように考えるか伺う。

A 危機管理監 今後、小美玉市でも現在40名いる防災士の皆様に呼びかけ、災害時の協力体制の構築や、自主防災組織の設立、防災訓練でのご支援・ご協力をお願いしたい。

Q 災害時における重要課題のひとつとなる、水の確保のため、災害時協力井戸登録制度の導入を求める。

A 危機管理監 市では現在災害時協力井戸として制度化をしていないが、いくつかの行政区では区内の井戸を把握し、非常時に使用できるようにしている。すでに自ら対応している行政区もあると思うので、今後、区長会と協議をさせていただき、井戸の調査、利用の可否など調査を行い、緊急時の飲料水・生活水の確保の多様化に努めていきたい。



▲災害に強い手押しポンプ (空のえき「そ・ら・ら」)

格差社会の是正のために、教育投資を

地域の特色や学校課題に合わせた特色ある取り組みを



鈴木 俊一

Q 小美玉市の児童生徒の学力は全国レベルと比べどのような状況になっているか。特に算数・数学の知識と活用の問題の正答率はどうか。

A 教育長 小学校6年生と中学校3年生に実施している全国学力・学習状況調査の結果から見ると、国語は、知識と活用の問題で全国の正答率と同じレベル、算数・数学は、やや下回るレベル、理科は、やや上回っている。全体的には、ほぼ全国平均レベルである。

Q 教育は無形資産であり、将来雇用を生み出し税収増につながり、従来の有形資産以上のものがある。そのため、教育公債の発行はできないか。

A 総務部長 国では、教育に関する財政支援に必要な財源を確保するため「教育国債」の創設について検討して

いるが、地方債を発行できるのは、主に公共施設の建設事業費や、災害復旧に要する経費、地方債の借換えに要する経費などで、市独自で教育予算の財源とするため、地方債を発行することは難しい。

Q 地域交流の場にもつながる子供食堂についてどのようにとらえているか。

A 福祉部長 こども食堂を運営する理念に基づき、対象者を限定せず、高齢者なども含めた交流、コミュニティに軸足を置くもの、貧困家庭の子供を対象とした生活困窮支援に軸足を置くもの、または子供の居場所づくりを含め、対象者や目的によって多様なこども食堂が考えられ、目的等の課題整理を行い検討が必要と考える。



地域防災の更なる強化を

市民の安心安全に努める

幡谷好文

Q 相互協力体制の整備において、現在どのような構築されているのか。

Q 在宅避難行動要支援者状況把握における、在宅避難要支援者名簿の作成状況について。
A 福祉部長 現在、災害時における「避難行動要支援者名簿」の作成は完了しており、平成29年5月末時点で、1160名の方々が名簿に登録されている。しかしながら、平常時における「避難行動要支援者名簿」の共有につきましても、個人情報観点から、個人の同意を得ることが求められており、関係機関に説明を行い、個人から同意を得るための準備をしている。また、名簿情報の更新については、最新情報を把握し、関係機関と共有出来るよう努めていきたい。

A 福祉部長 防災に直接関係する取組みだけでなく、避難行動要支援者が地域社会で孤立することのない環境づくりに努めるため、地域の様々な事業を通し、各種ボランティアの方々のご協力をいただきながら、各関係部署と連携を密にし、相互協力体制の構築を図っていきたい。

Q 小美玉市行政メールの不具合が確認されているが、現在の状況と今後の対策について。
A 福祉部長 メール送信の設定やメールサーバの設定を変更し、セキュリティを強化し対応を行う。市民の安心・安全につながるメール配信サービスは、より早く正確に情報発信が出来るよう管理・運営に努める。



小美玉市の未来を創造する政策を

安心して学べる教育環境の整備に取り組む

戸田見成

Q 産業振興について
産業振興整備は市にとって財源の確保・安定には重要な施策でありますが、その中で企業誘致は重要です。本気で事業を進めませんか。
A 産業経済部長 現在、庁内関係各課で構成する企業誘致に関する政策調整会議において、周辺市町の取り組みや先進地の事例を参考にしながら、優遇制度の拡充について協議をしていく。優遇措置の拡充を取りまとめ、精力的に企業誘致に取り組んでいきたい。

Q 子育て・教育を市の重要施策と位置づけませんか。
国際社会化・子供の学習への活性化・環境整備・教職員の活性化未来を拓く教育・子育てを展開しませんか。
A 教育長 小美玉市教育振興基本計画を策定し、学校教育や生涯学習、スポーツ推進についての教育施策の抜本的な見直しを図っていく。

【その他の質問】
Q 霞台新ゴミ処理施設工事指し止めの請求について。
A 教育長 外国語教育について、本市では、小学校担当の外国語指導助手を3名配置し、各小学校に週1回以上派遣している。学校では、5・6年生の「外国語活動」の授業のほか、1年生から4年生に対しても外国語の指導を実施し、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験できるように、幼稚園にも定期的に外国語指導助手を派遣し、幼児が遊びの中で楽しく外国語に触れられるようにしている。また、教職員の指導力向上、学校の日々の授業の質の向上が不可欠で、学校教育課や施設整備課によるハード面での学校支援と、指導室によるソフト面での学校支援をいっそう充実させ、小美玉市の学校教育の質の向上に努めていく。

先進地に学ぶ

研修視察の報告

議会改革推進特別委員会

◆視察日：29年5月15日

◆議員：市村文男・谷仲和雄

幡谷好文・大和田智弘

大槻良明・小川賢治

藤井敏生・岩本好夫

木村喜一・鈴木俊一

◆視察先・内容

「議会改革への取り組みについて」

(守谷市議会)

本市議会における議会改革を更に推し進めることを目的に、茨城県内における議会改革の先進議会である守谷市議会の取り組みを視察しました。

視察では、①議会基本条例制定後における議会改革の取り組みについて、②タブレット端末導入の経緯と効果について、③議会中継の配信方法、費用等、ハード面整備と市民からの評価について説明を受けるとともに、議会改革への取り組み全般にわたり意見交換を行いました。



▲守谷市議会の皆さんと意見交換

守谷市議会での議会改革におけるキーワードは「改革し続ける議会」、守谷市議会でも議会基本条例に基づき必要とされる要綱等の整備を随時行い運用しているとのことです。

本市議会においても、議会基本条例に基づく要綱等が整ったばかりであることから、これらの的確な運用が先決であることを再確認するものとなりました。

産業建設常任委員会

◆視察日：29年5月17日～18日

◆議員：市村文男・戸田見成

石井 旭・藤井敏生

福島ヤヨヒ

◆視察先・内容

①道の駅「いちごの里よしみ」

(埼玉県吉見町)

「施設整備に至る経緯と整備後の利用実績」、「指定管理者での運営における効果や課題」や「賑わい創出のための事業等について」その取組みや運営手法について研修しました。



▲運営方法の効果や課題について聞き取る委員 (道の駅「いちごの里よしみ」)

②企業誘致施策について

(神奈川県厚木市)



▲企業誘致の実績や課題について協議 (厚木市役所)

「企業立地元気アップサポート事業の概要について」や「各種奨励金の概要・実績・課題」について説明を受け、税制面・融資面の優遇制度の拡充や、助成制度の創設などの課題について、多くの企業誘致実績があり、特色ある施策を実施している厚木市において協議・研修しました。

第44回プレゼントクイズ *答えは議会だより 第46号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、「キャトル・セゾン」(四季の里内)のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 問① 8月3～5日に開催されるは第○回議会報告会？
 問② 救急車の車両更新基準は走行距離15万km以上または経過年数○年？
 問③ 6月定例会で一般質問を行った議員は○名？

◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。
 また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

◇応募〆切

平成29年8月24日(木)まで *当日消印有効

◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX: 0299-48-1199 Eメール: gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

第43回クイズの当選者

27通のご応募をいただきました。
 当選者は以下の方々です。

富田 良行さん	平泉 美代子さん
佐藤 耕子さん	森政 光生さん
高須 孝子さん	丹羽 正治さん
郡司 和子さん	中山 君子さん
坂井 孝寛さん	中島 恵美さん

第43回クイズの正解

問① 3月定例会で一般質問を行った議員は○名？

[答 → 11名]

問② 29年度の一般会計の当初予算額は○○○億8,700万円？

[答 → 235億]

問③ 小美玉市が加入している一部事務組合の数は○組合？

[答 → 6組合]

皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 「小美玉市医療センター」のあり方について今後、市医療センターが果たすべき役割や機能の向上に期待します。(幡谷・女性)
- ▶ 小美玉市は未就学児が利用できる支援センターとしての教室がたくさんあったり、低額で一時預りできるところもあったりと、子育てに協力的な市だと感心しています。欲を言えば、満3歳児の年から入園できる公立の幼稚園が増えると助かります。(野田・女性)
- ▶ 市内循環バス、JRの時刻表にももう少し合わせてくれたら、学生の利用が増えるかなと思う。(堅倉・女性)
- ▶ いつも議会だよりを読ませていただいています。市では、いまどのような取り組みをしているのか、そして今後検討していただけるのか。「住みやすい小美玉市」に!!(竹原・女性)
- ▶ 10年ぶりに帰ってきました。羽鳥駅がとても大きくなるのに驚きです。(野田・女性)
- ▶ 1年に数回電車に乗るので、羽鳥駅の橋上が出来るのが楽しみです。(羽鳥・女性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

議長通信



▲ 地方行政委員会委員長報告をする市村議長

● 5月24日：第93回全国市議会議長会定期総会が開かれ、各委員会の要望活動結果報告が行われました。地方行政委員会において、市村委員長（小美玉市議会議長）が、「地方権改革の推進」、「地方議会の権能強化」、「地方議会議員の厚生年金への加入」、「地方創生の推進」、「消防防災体制の充実強化」、「基地対策関係予算」、「平成28年度熊本地震からの復旧・復興」・「東日本大震災からの復旧・復興」の所要の予算確保など、主な要望結果についてその概要を報告しました。

定例会程 日	会議等の主な内容	傍聴	
		可	否
8月31日 (木)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
9月6日 (水)	本会議（～8日） (一般質問、議案質疑)	可	有
11日 (月)	決算特別委員会 (～12日)	要確認	無
13日 (水)	常任委員会 (～15日)	要確認	無
22日 (金)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

●同日、全国市議会議長会長より、「地方行政委員長」および「全国と地方の協議の場等に関する特別委員会の委員」として、会務運営の重責と会の使命達成の功績に対して感謝状が贈られました。



▲ 全国議長会長より感謝状を受けとる市村議長

**「議会だより」の表紙の写真を
みなさんから募集します**

- 編集の都合上、デジタルカメラでの写真データをお願いします。
- 住所、氏名、電話番号を明記し、写真データ(3MB未満)とともにメールで送付ください。掲載時は、原則お名前も掲載します。
- 写真は未発表のものに限ります。
- 応募いたいても掲載できない場合がありますのでご了承ください。
- 写真は広報紙のほか、ホームページ等でも公開されます。
- 締め切りは、9月8日(金)です。

※ 詳しくは、小美玉市議会事務局までお問い合わせください。
(☎0299-48-1111 内線1302)
メールアドレス: gikai@city.omitama.lg.jp

次の定例会は、8月31日(木) 開会予定です!

*委員会等の詳しい日程については、8月30日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

議会広報委員長になり、1年半が過ぎました。議会だよりは、市民の皆様には議会活動を紙面を通して身近に感じられるよう伝えるものと常に意識して、委員会メンバーが力を合わせより良い広報紙となるよう毎号、構成や編集にアイデアをしほり頑張っています。

これからも、市民の皆さまに興味を持って読んでいただける議会だよりを目指し頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

発行編集責任者 (大槻良明)
議長 市村 文男
広報特別委員会
委員長 大槻 良明
副委員長 谷仲 和雄
委員 小川 賢治
幡谷 好文
石井 旭
植木 弘子
村岡 春樹